SOX+製品 導入ガイド

iGrafx®

SOX+ Version 7.1.0

株式会社サン・プラニング・システムズ

この度は、SOX+製品をご購入いただきましてありがとうございます。
本**『SOX+製品 導入ガイド』**は、各製品のインストール手順、および注意事項などについてまとめたガイドです。
お使いになる製品によりご覧いただく項目が異なりますので、以下の目次を参考に必要な項目をご覧ください。

目次

◆ iGrafx および SOX+をインストールする

◆ **iGrafx 製品インストールガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P5**

iGrafx インストールディスク ・・・ P5

iGrafx システム要件 ・・ P6

iGrafx Origins v17 のインストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7

1 iGrafx Origins v17 を新規インストールする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P7
2 iGrafx Origins v17 にバージョンアップする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P11
3 iGrafx Viewer を新規インストールする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12
4 iGrafx Origins v17 をアンインストールする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P12

◆ **SOX+ 詳細インストールガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P13**

SOX+製品構成 ・・・ P13

SOX+システム要件 ・・ P14

SOX+の対応言語 ・・ P14

SOX+のインストール ・・ P15

1 SOX+ を新規インストールする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P16
2 SOX+ Viewer をインストールする （有償オプション） ・・・・・・・・・・ P19
3 SOX+ をバージョンアップする ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P19

AdministratorKit のインストール ・・ P20

1 AdministratorKit を新規インストールする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P20
2 AdministratorKit をバージョンアップする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P23

インストールの注意点 ・・ P24

SOX+整備/運用評価オプションの利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P24

SOX+と AdministratorKit のアンインストール ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P24

◆ **多言語版 SOX+ ご利用ガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P25**

SOX+のインストール言語 ・・・ P25

1 OS の標準言語が日本語の場合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P25
2 OS の標準言語が英語・中国語の場合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P25

AdministratorKit のインストール言語 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P26

SOX+ 中国語版をご利用の際に ･･ P26

SOX+ サーバー連携機能の対応言語 ････････････････････････････････････ P27

SOX+ 整備/運用評価オプションの対応言語 ･･････････････････････････････ P27

◆ SOX+の旧バージョンから移行する

◆ **SOX+ バージョンアップガイド ･･････････････････････････････････** P29

バージョンアップ前の確認と準備 ･･････････････････････････････････････ P29

iGrafx 製品および SOX+関連製品のバージョンアップ ･･････････････････････ P30

配布ファイルのバージョンアップ ･･････････････････････････････････････ P30

SOX+での配布ファイル取込手順 ･･････････････････････････････････････ P32

◆ **SOX+バージョンアップ履歴 ････････････････････････････････････ P33**

◆ SOX+ 整備/運用評価オプションをご利用の場合

◆ **SOX+整備/運用評価オプション スタートガイド ･････････････････････ P37**

SOX+整備/運用評価オプションの導入 ･･････････････････････････････････ P37

1 SOX+にライセンスキーを登録する･･････････････････････････ P38
2 AdministratorKit にライセンスキーを登録する･････････････････ P38
3 SOX+と配布ファイルを同時にバージョンアップされる場合のご注意 P39

◆ **SOX+整備／運用評価オプション バージョンアップガイド ････････････ P40**

バージョンアップ前の確認と準備 ･･････････････････････････････････････ P40

iGrafx 製品および SOX+関連製品のバージョンアップ ･･････････････････････ P40

整備/運用評価オプションのライセンスキーの登録 ･････････････････････････ P40

配布ファイルのバージョンアップ ･･････････････････････････････････････ P41

1 SOX+Ver.4.0 以降から Ver.7.1.0 への設定の移行･･･････････ P41

◆ 特別付録

◆ **産能大式フローチャートを作成したいとき ････････････････････････** P44

◆ **内部統制の 5 つの構成要素に関連する 17 原則 ･･･････････････････** P44

◆ 困ったときは

◆ **ヘルプデスクのご案内 ･･･** P45

iGrafx および SOX+をインストールする

◆ **iGrafx をインストールする・バージョンアップする**

➢ iGrafx 製品インストールガイド　··　P5

iGrafx FlowCharter や **iGrafx Viewer** をインストールする際にお読みください。

◆ **SOX+関連製品をインストールする・バージョンアップする**

➢ SOX+　詳細インストールガイド　··　P13

SOX+や **SoxPulsAdministratorKit**、**SOX+ Viewer** をインストール
する際にお読みください。

なお、**SOX+**をバージョンアップされる場合は、**『SOX+　バージョンアップガイド』**（P29～）も
あわせてお読みください。

◆ **SOX+の英語版・中国語版を使用する**

➢ 多言語版 SOX+　ご利用ガイド　··　P25

SOX+製品を海外でご利用される場合、事前にお読みください。

iGrafx 製品
インストールガイド

この度は iGrafx 製品 をご購入いただきましてありがとうございます。

本ガイドでは、iGrafx 製品のインストールについて説明しております。
SOX+関連製品のインストールについては**『SOX+詳細インストールガイド』**（P13～）を、整備/運用評価オプションの導入については、**『整備/運用評価オプション スタートガイド』**（P37～）をそれぞれご覧ください。

◆ iGrafx インストールディスク

「iGrafx インストールディスク」では、購入されたライセンスとそのライセンスキーに応じて、以下の iGrafx 製品をインストールすることができます。

購入されたライセンスの種類については、ライセンス証書の記載をご覧ください。

製品名	購入ライセンス
iGrafx Viewer(Origins v17)	ライセンス不要
iGrafx FlowCharter (Origins v17)	iGrafx FlowCharter - Desktop Client v17 Perpetual License
iGrafx Process (Origins v17)	iGrafx FlowCharter - Desktop Client v17 Perpetual License

Perpetual ライセンスでは、日本語および英語の他、中国語、ドイツ語、フランス語等 8 か国語をご利用いただけます。
これらの言語セットは、インストール先の標準言語設定を判別してインストールされるほか、カスタムインストールで任意に追加できます。

※１）SOX+は日・英・中の 3 か国語に対応しています
※２）iGrafx Platform 及び SOX+ Server Edition は日本語版、英語版に対応しています

◆ iGrafx システム要件

iGrafx Origins v17 製品をインストールしてご使用になるには、以下の環境が必要です。

CPU	Dual Core processor 1GHz 以上または同等のプロセッサ
OS	Windows10,Windows11 ※ 64bit OS 上では、32bit 互換モードで動作します
メモリ	1GB 以上を推奨
ディスプレイ	XGA（最小で 1024×768 ピクセル）以上の高解像度ビデオグラフィックカード、およびモニタ
HDD 空き容量	iGrafx 標準インストール： 150 MB 以上必須 カスタムインストール： 約 200 MB 程度
ブラウザ	Microsoft Edge, Google Chrome
ドライブ	CD-ROM ※CD-ROM ドライブが使用できない場合は、インストールに限定して社内ネットワーク上にコピーを置いて使用することができます。利用規約については、CD 同梱の『license.htm』をご覧ください

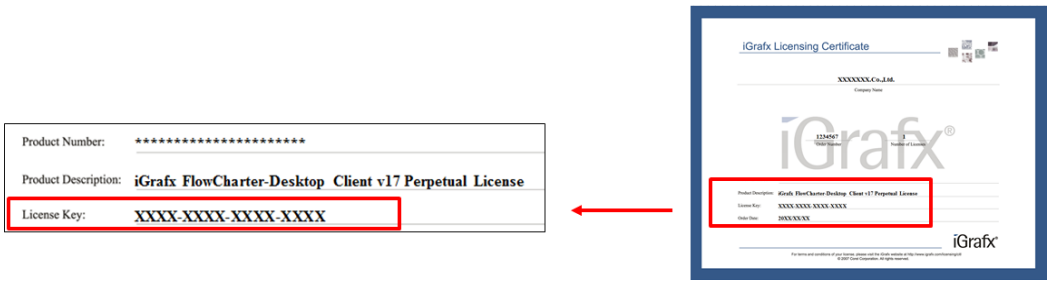
※SOX+関連製品の固有の必要環境については、**『SOX+詳細インストールガイド』**（P13～）をご覧ください。

◆ iGrafx Origins v17 のインストール

iGrafx Origins 製品のインストールの際は、以下の二つをご用意ください。

■ **「iGrafx インストールディスク」** CD-ROM （青色のラベルの CD-ROM ）

■ iGrafx Origins アプリケーションのライセンスキーが記載された、青色の**ライセンス証書**
※例 ： iGrafx FlowCharter の場合 （24 桁のキーが記載されています）



■ iGrafx Origins v17 を新しく PC にインストールする場合は、以下の**「1 iGrafx Origins v17 を新規インストールする」**をご覧ください。

旧バージョンがインストールされている PC を iGrafx Origins v17 にバージョンアップする場合は、**「2 iGrafx Origins v17 にバージョンアップする」**（P11～）を併せてご覧ください。

1 iGrafx Origins v17 を新規インストールする

iGrafx Origins v17 の新規インストールは、以下の手順で行います。

① PC に**「iGrafx インストールディスク」**CD-ROM をセットし、Windows インストーラが起動して**「iGrafx Origins セットアップ」**の画面が出るまでしばらく待ちます。

画面の指示に従い、すべての Windows プログラムを閉じた上で「次へ(N)」をクリックしてください。

※ 画面が表示されない場合は、「コンピューター」の CD-ROM ドライブを右クリックし、「**自動再生**(P)」コマンドを実行するか、「**開く**(O)」コマンドでフォルダを開いてから「**setup.exe**」を実行してください。

セットアップ画面が表示される前に、
「Windows によって PC が保護されました」と表示された場合、
安全性が確認できる場合は、「詳細情報」をクリックし、「実行」
ボタンをクリックします。

② **「ライセンス契約書」**ページが表示されます。
「ライセンス契約の表示」ボタンをクリックすると、本製品についての iGrafx, LLC エンド・ユーザー・ライセンス契約が表示されます。

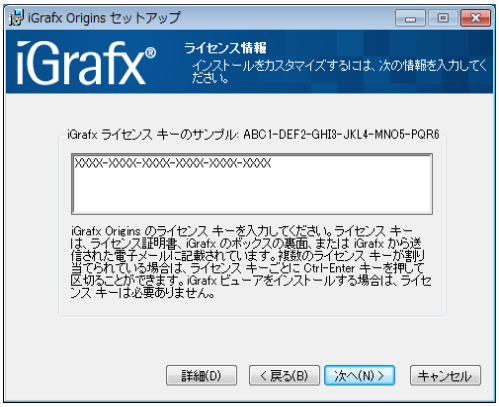
契約の文章をすべて確認し、「ライセンス契約に同意します(A)」にチェックを入れ、「次へ(N)」をクリックしてください。

③ **「ライセンス情報」**ページが表示されます。

お手元の iGrafx Origins v17 ライセンス証書に記載されているライセンスキー（24 文字）を入力してください。

キーは、ライセンス証書**「iGrafx Licensing Certificate」**の**「License Key:」**の行に記載されています。

※ 大文字、小文字は区別されません。
※「 - 」は入力しなくても構いません。



キーを入力後、「次へ(N)」をクリックしてください。

キーを入力せずにインストールすると、編集機能に制限のある iGrafx Viewer としてインストールされます。
その場合は、インストール後に iGrafx を起動し、「ヘルプ」メニューの「バージョン情報」からライセンスキーを追加登録してください。

④ **「インストールの種類の選択」**ページが表示されます。
あらかじめ「標準」が選択されていますので、通常はそのまま「次へ(N)」をクリックして進んでください。

次の場合は、「カスタム」を選択してください。
- 使用ユーザーを限定したい場合
- アプリケーションのインストール先を指定したい場合
- 使用する言語を追加したい場合
- パブリックメディアコレクションをインストールしたくない場合

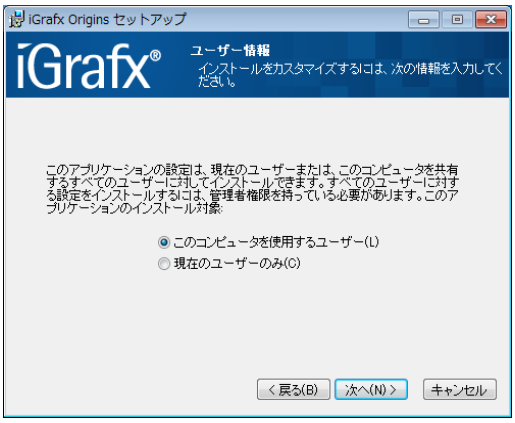
「標準」インストールの場合は手順⑥へ、「カスタム」インストールの場合は手順⑤へ進んでください。

⑤ **「カスタムインストール」を選択した場合**

1、**「ユーザー情報」**ページが表示されます。

管理者権限を持っている場合は、
「このコンピュータを使用するユーザー」にインストールするか、「現在のユーザーのみ」（インストールを実行しているユーザー）にインストールするかを選択することができます。

必要に応じて設定を変更し、「次へ(N)」をクリックしてください。



2、**「インストール先フォルダ」**ページが表示されます。
必要に応じて、アプリケーションのインストール先を変更することができます。

必要に応じて設定を変更し、「次へ(N)」をクリックしてください。

3、**「機能の選択」**ページが表示されます。
主に、以下のような機能の選択ができます。

➢ 言語セットの選択
追加したい言語セットを選択することができます。

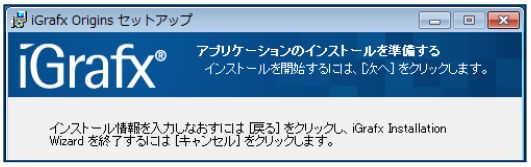
➢ パレット（パブリックメディアコレクション）の選択
必要なコレクションを追加でインストールするほか、不要なコレクションをインストール対象から外すこともできます。

➢ アプリケーションショートカットの追加
iGrafx Viewer などのショートカットを追加することができます。

追加したい機能もしくはインストールから外したい機能を選択し、「次へ(N)」をクリックしてください。

⑥ 選択した機能に合わせて**「ディスク容量」**の確認画面が表示されます。「次へ(N)」をクリックします。

⑦ **「アプリケーションのインストールを準備する」**ページが表示されますので、あらためてインストールの準備が整っているか確認の上、「次へ(N)」をクリックしてください。



インストールが開始されます。

⑧ インストールが終了すると、**「インストールの完了」**画面が表示されますので、「完了(F)」をクリックします。

⑨ Windows の「スタート」メニュー→「すべてのプログラム」に、Windows8 以降は「アプリ」画面に**「iGrafx」**が登録されていることを確認し、PC から**「iGrafx インストールディスク」**CD-ROM を取り出します。

※ SOX+など関連製品のインストールが必要な場合は、CD を入れ替え、続けてインストールを行ってください。
※ SOX+とそのインストールについては、**『SOX+詳細インストールガイド』**（P13～）をご覧ください。

2　iGrafx Origins v17 にバージョンアップする

iGrafx の旧バージョンがインストールされている場合、上書インストールで iGrafx Origins v17 にバージョンアップを行うことができます。
バージョンアップには **iGrafx Origins v17 用のライセンスキーが必要です。**
旧バージョンのライセンスキーは使用できません。

バージョンアップは、新規インストールと同様の手順で行うことができます。
詳細手順は、**「1　iGrafx Origins v17 を新規インストールする」**（P7～）をご覧ください。

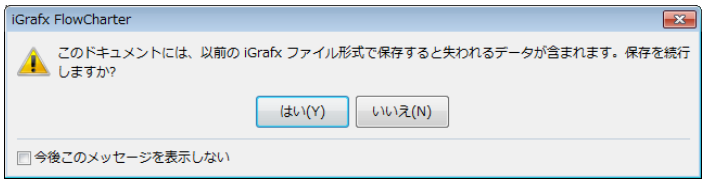
◆　SOX+を使用している場合

iGrafx をバージョンアップした場合は 必ず同時に SOX+もバージョンアップしてください。
iGrafx Origins v17 では、SOX+の Ver7.1.0 をご使用ください。

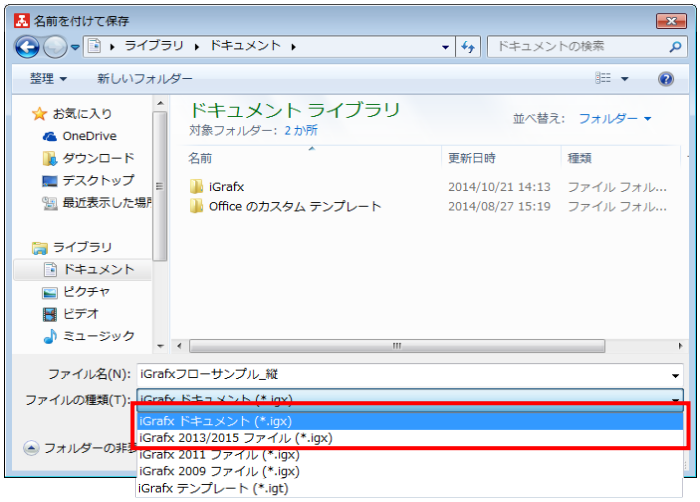
これまでの設定を新バージョンに移行するため、設定ファイル保存などの準備が必要になる場合があります。
新バージョンのインストール前に、**『SOX+バージョンアップガイド』**（P29～）をご確認ください。

◆　旧バージョンのファイルの互換性について

旧バージョンで作成された iGrafx ファイルは、iGrafx のバージョンアップ後もそのまま利用できます。
旧バージョンの iGrafx ファイルを上書き保存する際に、以下の確認メッセージが表示されます。



以後表示されないようにするには、iGrafx 最新版の標準形式「iGrafx ドキュメント (*.igx)」形式で保存し直してください。



なお、最新形式で保存すると、旧バージョンの iGrafx では開くことができなくなりますのでご注意ください。

◆　図形コレクションの引継ぎ

旧バージョンで、パブリックメディアコレクションに図形コレクションを追加して使用していた場合、自動的には新しいバージョンに引き継がれません。アプリケーションのインストールフォルダ内にある旧バージョンの「Palette」フォルダから、新しいバージョンの同名のフォルダにファイルを移動してください。

◆ テンプレートの引継ぎ

iGrafx 2015 以降では、共有テンプレートが使用できません。旧バージョンで共有テンプレートフォルダにテンプレートを追加していた場合、新しいバージョンの個人用テンプレートフォルダにファイルを移動してください。

3 iGrafx Viewer を新規インストールする

iGrafx Viewer は、利用できる機能が iGrafx ドキュメントの閲覧と印刷に制限されている文書閲覧用ソフトウェアです。フローチャートを編集することは出来ませんが、ライセンスの制限がなくインストールができます。

iGrafx Viewer のインストール手順は、iGrafx の新規インストールとほぼ同じです。**「1 iGrafx Origins v17 を新規インストールする」**（P7～）をご参照ください。
手順③の**「ライセンス情報」**ページで、ライセンスキーを何も入力せずに「次へ（N）」をクリックしてください。

SOX+を **iGrafx Viewer** にインストールすることはライセンス上できません。SOX+ Viewer をご利用ください。
SOX+ Viewer とそのインストールについては、**『SOX+詳細インストールガイド』**（P13～）をご覧ください。

4 iGrafx Origins v17 をアンインストールする

iGrafx Origins v17 が不要になった場合は、Windows の「プログラムのアンインストール」からアンインストールを行ってください。

アンインストールをせずに、ライセンスキーだけを無効化して iGrafx Viewer として使用することもできます。
iGrafx を起動し、「ヘルプ」メニューの「バージョン情報」からライセンスキーの「管理」ダイアログボックスを開きます。
「有効なライセンスキー」の中にあるライセンスキーを全て無効化します。

ライセンスキー無効化後、「FlowCharter」「iGrafx Origins」「Process」のショートカットから iGrafx を起動した場合などに、アクティベーションの確認画面が表示されます。
確認画面を表示したくない場合は、「Viewer」のショートカットから iGrafx を起動してください。
ショートカットが無い場合は、インストール CD から追加することができます。

※SOX+は、ライセンスキーのみの削除はできません。SOX+が不要になった場合は、Windows の「プログラムのアンインストール」からアンインストールを行ってください。

SOX+　詳細インストールガイド

SOX+

この度は SOX+製品をご購入いただきましてありがとうございます。

本ガイドでは、SOX+およびその付属アプリケーションのインストールについて説明しております。
iGrafx のインストールについては、**『iGrafx 製品インストールガイド』**（P5～）を、整備/運用評価オプションの導入については、**『整備/運用評価オプション スタートガイド』**（P37～）をご覧ください。

◆ SOX+製品構成

「SOX+追加インストールディスク」からは、以下のアプリケーションをインストールできます。

アプリケーション	必要（購入）ライセンス	対応言語
SOX+	SOX+ライセンス	日・英・中 ※サーバー連携機能は日本語版、英語版のみ対応です。
SoxPlusAdministratorKit		日・英・中
SOX+ Viewer	SOX+ Viewer ライセンス	日・英・中
SOX+ 整備/運用評価オプション	評価オプションライセンス	日本語版、英語版のみ

◆ SOX+

iGrafx 上で動作する、内部統制文書化作業支援ツールです。
SOX+をインストールするには、SOX+ライセンス証書に記載の SOX+ライセンスキーが必要です。
※ 事前に iGrafx 製品のインストールを行ってください。

◆ SoxPlusAdministratorKit

SOX+の設定をカスタマイズするための管理者向けのソフトウェアです。
SoxPlusAdministratorKit（以下、本文中では AdministratorKit と記載します。）を使用するには、SOX+ライセンス証書に記載の AdministratorKit ライセンスキーが必要です。

◆ SOX+ Viewer （オプション製品）

iGrafx Viewer 上で動作する、SOX+で作成されたドキュメントを閲覧するためのドキュメントビューワーです。
SOX+ Viewer のインストールには、SOX+ライセンス証書に記載の SOX+ Viewer ライセンスキーが必要です。
※ 事前に iGrafx Viewer のインストールを行ってください。

◆ SOX+ 整備/運用評価オプション（オプション製品）

SOX+に付属するオプション機能です。別売のライセンスを購入することで、SOX+に整備評価・運用評価・CSA などの機能を追加します。

◆ SOX+システム要件

SOX+および AdministratorKit の動作に必要な環境は以下の通りです。
※ SOX+および AdministratorKit のインストールには、PC の管理者権限が必要です。

OS	iGrafx に準じます iGrafx のシステム要件については、**『iGrafx 製品インストールガイド』**（P5～）をご覧ください。
CPU・メモリ	iGrafx に準じます
HDD 空き容量	SOX+：約 40MB
	AdministratorKit：約 40MB
ドライブ	CD-ROM ※インストールのためであれば、社内ネットワーク上にコピーを置いて使用することができます 利用規約については CD 同梱の『SOX+ ライセンス許諾.txt』をご覧ください
RCM 出力	・Microsoft Office Excel 2016,2019,2021,Office365,2024 ・プリンタドライバが一つ以上インストールされていること
AdministratorKit	・Microsoft Office Excel 2016,2019,2021,Office365,2024 ・プリンタドライバが一つ以上インストールされていること ・Microsoft .Net Framework 4.5.1 （自動的にインストールされます。）

◆ SOX+の対応言語

iGrafx および SOX+は、インストール PC の OS の使用言語を自動判定し、それぞれ適切な言語のバージョンでインストールされます。詳細については**『多言語版 SOX+ご利用ガイド』**（P25～）をご覧ください。

◆ SOX+のインストール

SOX+を購入すると、パッケージには通常 2 枚の CD が納められています。青いラベルの CD から iGrafx 製品をインストールし、次に黄色のラベルの CD から SOX+をインストールします。

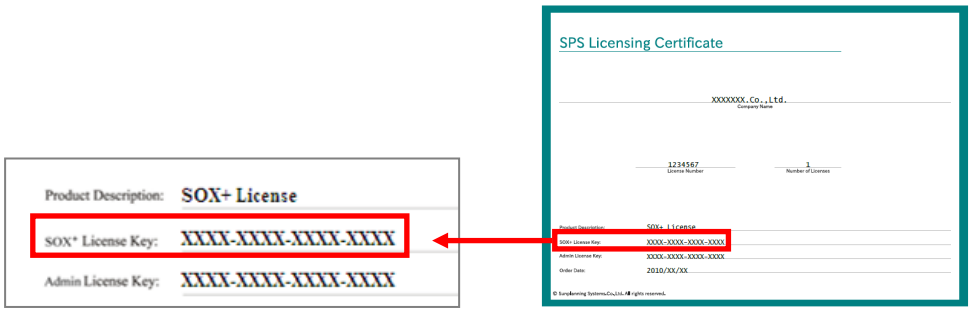
青色のラベルの CD から
iGrafx をインストールする

黄色のラベルの CD から
SOX+アドオンをインストールする

SOX+のインストールには、あらかじめ PC に iGrafx Origins がインストールされている必要があります。
PC に iGrafx 製品がインストールされていない場合は、事前にインストールしてください。iGrafx 製品のインストールについては『**iGrafx 製品 インストールガイド**』(P5~)をご覧ください。
SOX+のインストールの際は、以下の二つをご用意ください。

■ **「SOX+追加インストールディスク」**CD-ROM （黄色のラベルの CD-ROM ）

■ SOX+のライセンスキーが記載された**ライセンス証書**
※ 「SOX+ License Key」として 16 桁 のキーが記載されています。

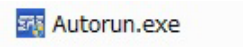


SOX+を新しくインストールする場合は、以下の**「1 SOX+を新規インストールする」**をご覧ください。
旧バージョンが既にインストールされている場合は、**「2 SOX+をバージョンアップする」**（P19～）をご覧ください。

1 SOX+ を新規インストールする

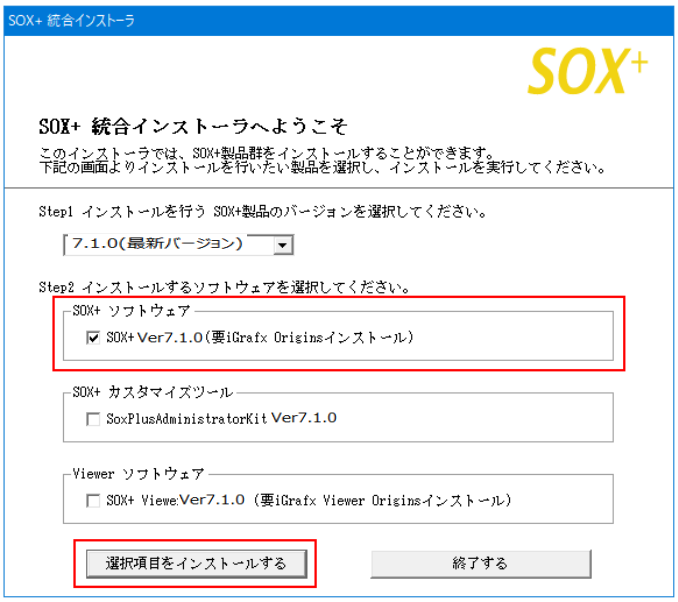
① PC に**「SOX+追加インストールディスク」**の CD-ROM をセットし、「SOX+ 統合インストーラ」の画面が表示されるまで少し待ちます。

※画面が表示されない場合は、「コンピューター」のCD-ROMドライブを右クリックし、「**自動再生**(P)」コマンドを実行するか、「**開く**(O)」コマンドでフォルダを開いて「**Autorun.exe**」を実行してください。



② ユーザーアカウント制御が表示された場合は、「はい」をクリックします。

③ **「SOX+ 統合インストーラ」**の画面が表示されますので、以下のように選択します。



Step2 インストールするソフトウェアを選択してください。

⇒インストールを行う製品にチェックを入れます。

「SOX+ソフトウェア」の「SOX+ Ver.7.1.0(要 iGrafx Origins インストール)」にチェックを入れます。

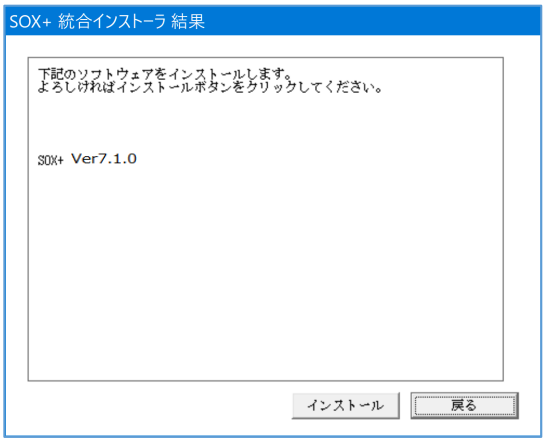
※SOX+カスタマイズツールが必要な場合、SOX+と同時にインストールができます。

「SoxPlusAdministratorKit Ver.7.1.0」にもチェックを入れてください。

インストールするソフトウェアを選択し、画面の一番下の「選択項目をインストールする」をクリックします。

④ **「SOX+ 統合インストーラ 結果」**画面が表示されます。

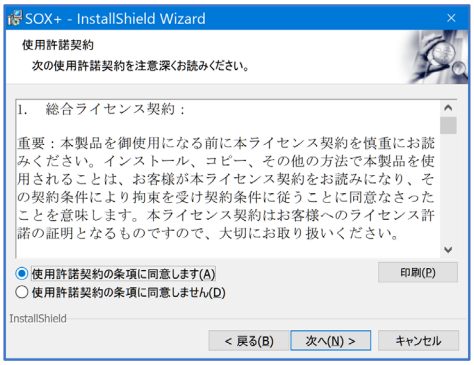
インストール対象になっているアプリケーション名を確認し、
「インストール」をクリックします。



⑤ SOX+のインストーラ **「SOX+ - InstallShield Wizard」**が起動します。
「次へ(N)」をクリックします。

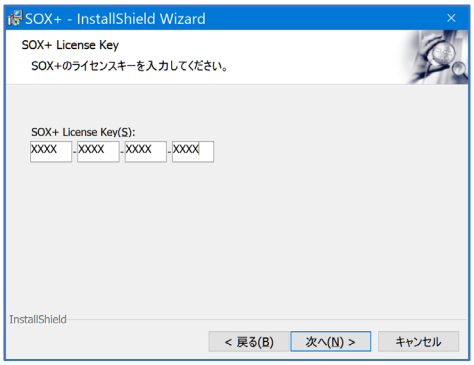
⑥ **「使用許諾契約」**ページが表示されます。
ここでは、本製品についての(株)サン・プラニング・システムズの総合ライセンス契約が表示されています。

契約の文章をすべて確認し「使用許諾契約の条項に同意します(A)」にチェックを入れ、「次へ(N)」をクリックします。
（総合ライセンス契約のテキストは、CD 内にも納められています）



⑦ **「SOX+ License Key」**ページが表示されます。
お手元の SOX+ライセンス証書に記載のライセンスキー（16 文字）を入力してください。

ライセンスキーは、ライセンス証書「SPS Licensing Certificate」の**「SOX+ License Key」**の行に記載されています。
※ 大文字小文字は区別して入力してください。

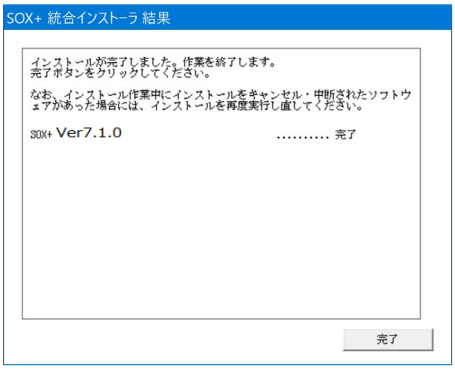


ライセンスキーの入力後、「次へ(N)」をクリックしてください。

⑧ **「プログラムをインストールする準備ができました」**と表示されますので、
「インストール(I)」をクリックしてください。インストールが開始されます。

⑨ **「インストールの完了」**画面が表示されます。
「完了(F)」をクリックしてください。

⑩ **「SOX+統合インストーラ結果」**画面が表示されます。
「完了」をクリックしてインストーラを終了します。
(画面の後ろに隠れている場合があります)



⑪ **「iGrafx Origins」**を起動し、メニューに**「SOX+」**が追加されていることを確認します。
(画面「クイックスタート」が開いている場合は右上の×で閉じます)

⑫ **「SOX+追加インストールディスク」**CD-ROM を取り出します。

SOX+の使い方の詳細については、Windows「スタート」メニュー→「iGrafx」フォルダに格納されている
『SOX+ ユーザーズガイド』をご覧ください。

2　SOX+ Viewer をインストールする　（有償オプション）

SOX+ Viewer をインストールするには、**SOX+ Viewer ライセンスキー**（有償オプション）が必要です。

SOX+ Viewer のインストールの手順は **SOX+**に準じますが、インストールには **iGrafx Viewer** がインストールされている必要があります。　（ライセンス上、**SOX+ Viewer** を **iGrafx FlowCharter** にインストールして使用することはできません。）

iGrafx Viewer ではフローチャートの閲覧・印刷ができます。
さらに **SOX+ Viewer** をインストールすると、SOX+ダイアログボックスの内容の閲覧や RCM 出力、印刷ヘッダーへの文書情報の出力も行えるようになります。

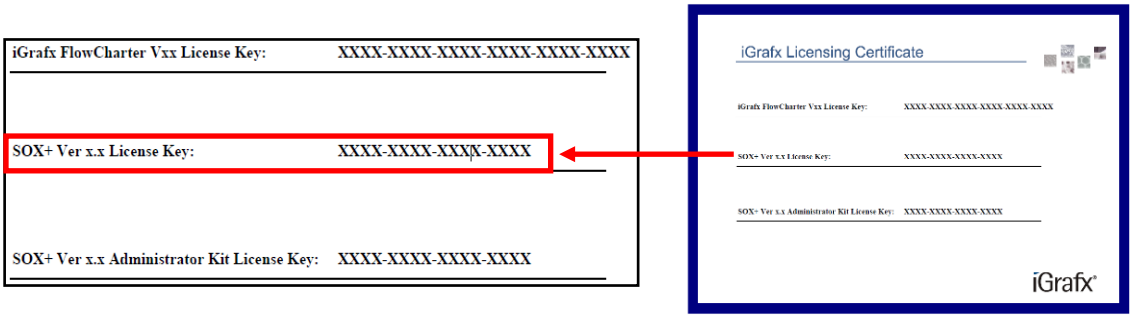
また、SOX+と同じ手順で配布ファイルを取り込むことで、SOX+と同様にカスタマイズされた画面項目名、RCM テンプレートなどを利用できます。配布ファイル取り込みについての詳細は、本導入ガイドの『SOX+バージョンアップガイド』内の「SOX+での配布ファイル取込手順 P.32」に記載されています。

3　SOX+ をバージョンアップする

既に SOX+の旧バージョンがインストールされている場合、上書きインストールでバージョンアップを行うことができます。

SOX+ Ver.7.1.0 のインストールには、**Ver.7.1.0 のライセンスキーの入力が必要です。**
旧バージョンのライセンスキーは使用できません。

あらかじめ SOX+の新しいライセンスキーが記載された**ライセンスキー証書「iGrafx Licensing Certificate」**をお手元にご用意ください。



バージョンアップのライセンスキーは、iGrafx、SOX+、AdministratorKit のライセンスキーが 1 枚の証書に記載されています。インストール CD-ROM に記載のバージョンと、**ライセンスキー証書**に記載のバージョンが一致していることを確認の上、バージョンアップ作業を進めてください。

【設定の引継ぎ】
SOX+をバージョンアップすると、ご利用の配布ファイルについてもバージョンアップが必要な場合があります。
配布ファイルのバージョンアップ方法や、ドキュメントの互換性などのバージョンアップ時の注意点については、**『SOX+バージョンアップガイド』**（P29～）をご覧ください。

整備/運用評価オプションをご利用の場合は、**『整備/運用評価オプション バージョンアップガイド』**（P40～）も併せてご覧ください。

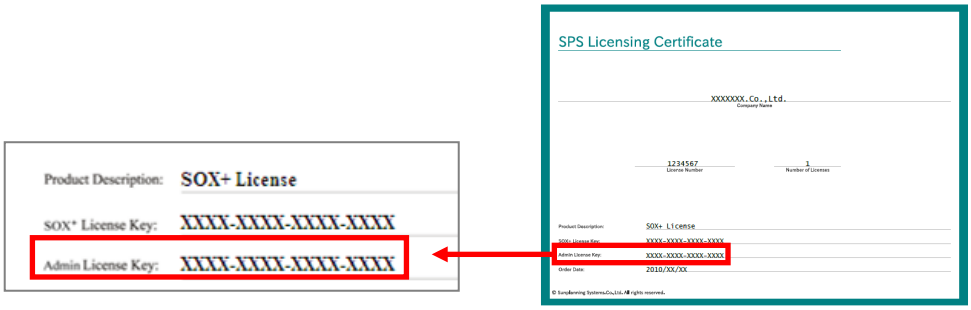
◆ AdministratorKit のインストール

AdministratorKit のインストールの際は、以下の二つをご用意ください。

■ **SOX+追加インストールディスク** CD-ROM （黄色のラベルの CD-ROM ）

■ AdministratorKit のライセンスキーが記載された**ライセンス証書**

※ 「Admin License Key」として 16 桁 のキーが記載されています。



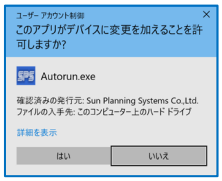
※ AdministratorKit のインストールには SOX+がインストールされている必要はありません。
ただし実用上からは SOX+がインストールされている PC にインストールされることをお薦めします。

1 AdministratorKit を新規インストールする

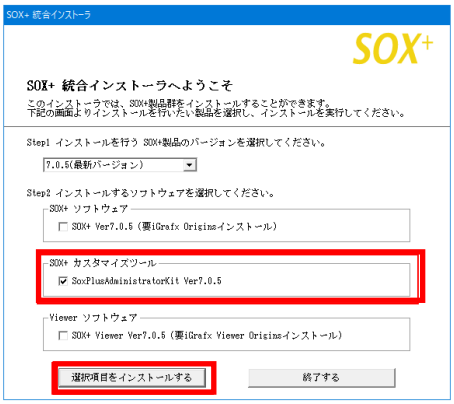
① PC に**「SOX+追加インストールディスク」** CD-ROM をセットし、**「SOX+ 統合インストーラ」**の画面が表示されるまで少し待ちます。

※画面が表示されない場合は、「コンピューター」のCD-ROMドライブを右クリックし、「**自動再生**(P)」コマンドを実行するか、「**開く**(O)」コマンドでフォルダを開いて「**Autorun.exe**」を実行してください。

ユーザーアカウント制御が表示された場合は、「はい」をクリックします。



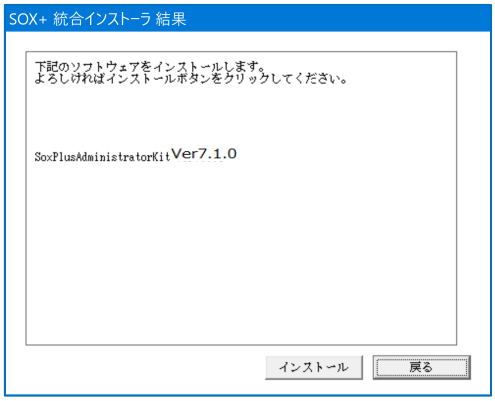
② **「SOX+ 統合インストーラ」**の画面が表示されたら、以下のように選択します。



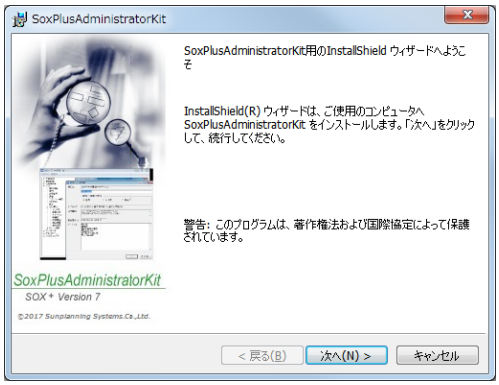
Step 2 インストールするソフトウェアを選択してください。
⇒「SOX+ カスタマイズツール」の「**SoxPlusAdministratorKit Ver.7.1.0**」にチェックを入れます。

選択を終えたら、画面の一番下の「選択項目をインストールする」をクリックします。

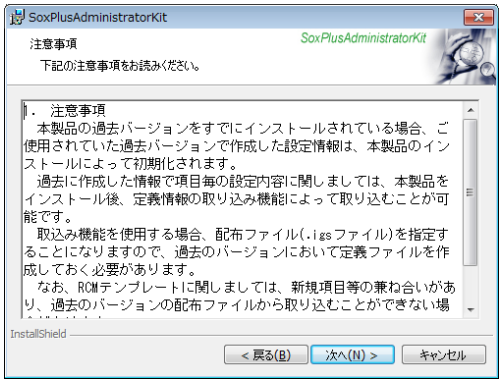
③ **「SOX+ 統合インストーラ 結果」**画面が表示されます。
インストール対象になっているアプリケーション名を確認し、
「インストール」をクリックします。



④ AdministratorKit のインストーラが起動します。
「次へ(N)」をクリックします。

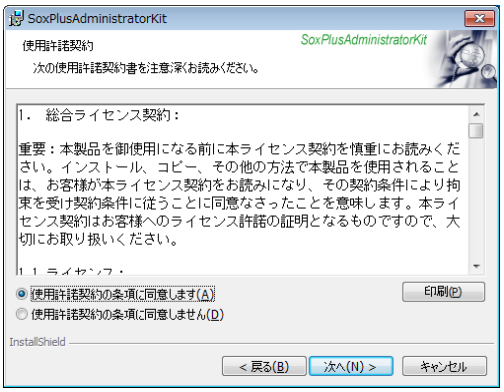


⑤ **「注意事項」**ページが表示されます。
「次へ(N)」をクリックします。



⑥ **「使用許諾契約」**ページが表示されます。
ここでは、本製品についての(株)サン・プラニング・システムズの総合ライセンス契約が表示されています。

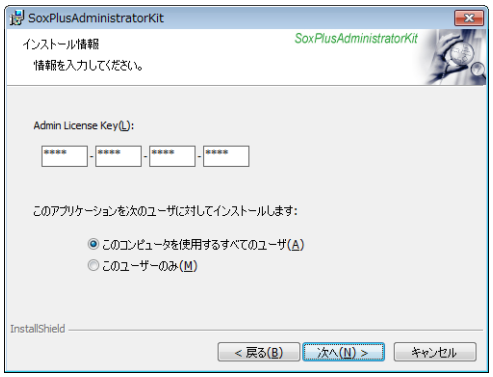
契約の文章をすべて確認し「使用許諾契約の条項に同意します(A)」にチェックを入れ、「次へ(N)」をクリックしてください。
（総合ライセンス契約のテキストは、CD 内にも納められています）



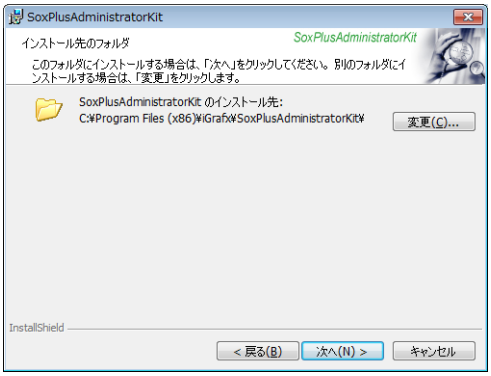
⑦ **「インストール情報」**ページが表示されます。
ここでは、お手元の SOX+ライセンス証書に記載のライセンスキー（16 文字）を入力してください。

ライセンスキーは、対応するバージョンの**ライセンス証書「SPS Licensing Certificate」**の**「Admin License Key」**の行に記載されています。
※ 大文字小文字は区別して入力してください。

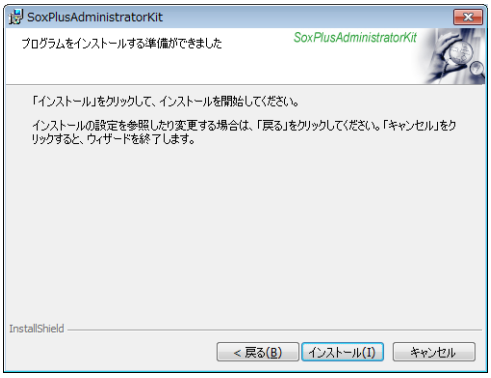
入力後、「次へ(N)」をクリックしてください。



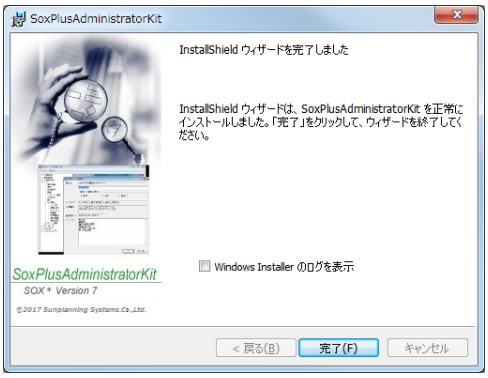
⑧ **「インストール先のフォルダ」**ページが表示されます。
ここでは、アプリケーションのインストール先を指定できます。必要に応じて変更し、「次へ(N)」をクリックします。



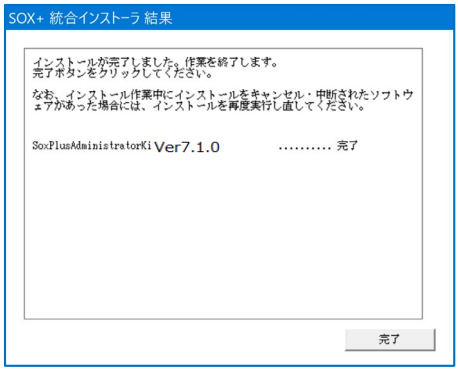
⑨ **「プログラムをインストールする準備ができました」**と表示されたら、「インストール(I)」をクリックしてください。
インストールが開始されます。



⑩ **「インストールの完了」**画面が表示されます。
「完了(F)」をクリックしてください。



⑪ **「SOX+統合インストーラ結果」**画面が表示されます。「完了」をクリックしてインストーラを終了します。



⑫ Windows「スタート」メニュー→「iGrafx」フォルダにある「**SoxPlusAdministratorKit**」を選択し、ソフトウェアが起動することを確認します。
SoxPlusAdministratorKit の使い方の詳細については、Windows「スタート」メニュー→「iGrafx」フォルダに格納されている『**SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド**』をご覧ください。

「SOX+追加インストールディスク」CD-ROM を取り出します

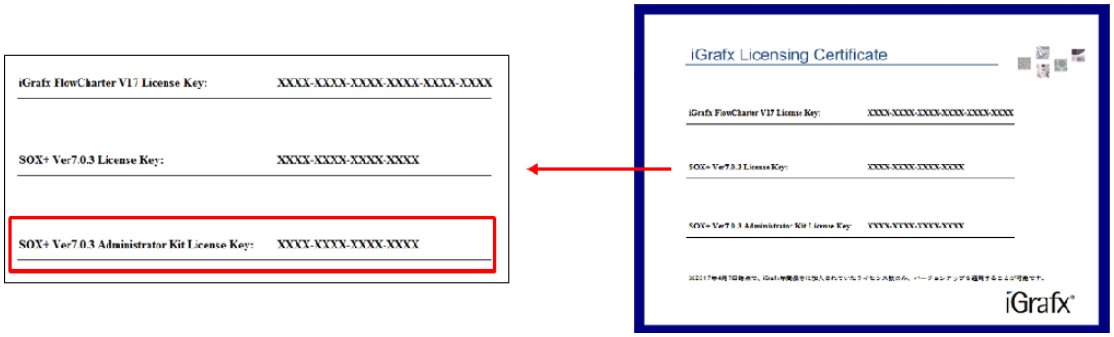
2 AdministratorKit をバージョンアップする

AdministratorKit をバージョンアップするには、下記の手順に従って、**旧バージョンをアンインストールしてから**、新しいバージョンの AdministratorKit をインストールしてください。

また、バージョンアップを行うとこれまでの設定データは削除されますので、バージョンアップの前には必ず「配布ファイル作成」を行っておくなどして、これまでの設定内容を配布ファイルに保存しておいてください。

AdministratorKit のバージョンアップには、**Ver.7.1.0 のライセンスキーが必要です。**
旧バージョンのライセンスキーは使用できません。

あらかじめ AdministratorKit の新しいライセンスキーが記載された**ライセンスキー証書「iGrafx Licensing Certificate」**をお手元にご用意ください。



バージョンアップのライセンスキーは、iGrafx、SOX+、AdministratorKit のライセンスキーが 1 枚の証書に記載されています。インストール CD-ROM に記載のバージョンと、**ライセンスキー証書**に記載のバージョンが一致していることを確認の上、以下の手順でバージョンアップ作業を進めてください。

① AdministratorKit をアンインストールする前に、これまでご利用の配布ファイルを確認してください。最新の配布ファイルが無い場合は、AdministratorKit を起動し、「配布ファイル作成」を行って最新の配布ファイルを作成しておきます。

② AdministratorKit をアンインストールし、インストールフォルダ （標準では"C:¥Program Files¥iGrafx"）に "SoxPlusAdministratorKit" フォルダが残っていないかどうか確認します。
残っていた場合は、フォルダごと削除します。

③ AdministratorKit を新規インストールします。詳細は**「1 AdministratorKit を新規インストールする」**（P20～）をご覧ください。

配布ファイルをバージョンアップします。詳細は、**『SOX+バージョンアップガイド』**（P29～）および、インストールと同時に PC に導入される **『SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド』**をご覧ください。

◆ インストールの注意点

インストール中、個別のソフトウェアのインストール画面が統合インストーラの画面の下に隠れてしまう場合があります。
画面が長時間変化しない場合は、Windows のタスクバーから作業中のインストール画面を確認してください。

◆ SOX+整備/運用評価オプションの利用

SOX+整備/運用評価オプションをご利用いただくには、SOX+のインストール後に、評価オプションライセンスキーの登録が必要です。 詳細は、**『SOX+整備/運用評価オプション スタートガイド』**（P37～）をご覧ください。

既に SOX+整備/運用評価オプションをご利用いただいており、Ver.7.1.0 へバージョンアップされる方は、
『整備/運用評価オプション バージョンアップガイド』（P40～）をご覧ください。

◆ SOX+と AdministratorKit のアンインストール

SOX+、AdministratorKitをアンインストールする場合は、Windwosの設定「アプリ」―「アプリと機能」画面、または「コントロールパネル」―「プログラムのアンインストール」から行ってください。
一覧から「SOX+」または「AdministratorKit」を選択し、「アンインストール」をクリック、画面の手順に従ってアンインストールを行います。

多言語版 SOX+ご利用ガイド

SOX+

SOX+の Ver.3.2 以降では、OS の言語設定によってインストール後に使用できる言語が異なる場合があります。
以下の注意点を良くご確認の上、ご利用ください。

◆ SOX+のインストール言語

1　OS の標準言語が日本語の場合

■ iGrafx 製品、SOX+関連製品ともに、インストール時には日本語のインストーラが起動します。

■ iGrafx の標準インストールでは日本語と英語の二ヶ国語がインストールされます。
※日本語 OS 上で中国語版もご使用になりたい場合は、iGrafx のインストール時に「カスタムインストール」を選択し、中国語言語セットの追加を行ってください。

※ iGrafx のインストールについては、**『iGrafx 製品インストールガイド』**（P5～）をご覧ください。
※ iGrafx の言語セットは、後から追加インストールすることもできます。

■ SOX+は、OS および iGrafx の言語セットに関わらず、日本語版・英語版・中国語版すべてがインストールされ、必要に応じて言語を切り替えて使用することができます。

言語を切り替えたい場合は、iGrafx の「ツール」メニューより「オプション」を選択して「オプション」ダイアログボックスを開き、「全般」タブの「アプリケーション言語」を対象言語に変更して、iGrafx を再起動します。
iGrafx の「アプリケーション言語」の設定に合わせて、SOX+の使用言語も切り替わります。

2　OS の標準言語が英語・中国語の場合

■ OS の言語が英語の場合は、iGrafx 製品・SOX+ともに英語表示のインストーラが起動します。
英語 OS 上では、iGrafx の標準インストールでは英語のみがインストールされます。

■ OS の言語が中国語の場合は、iGrafx 製品は中国語表示、SOX+は英語表示のインストーラが起動します。
中国語 OS 上では、iGrafx の標準インストールでは中国語と英語がインストールされます。

■ 英語 OS 上で日本語・中国語をご使用になる場合、また中国語 OS 上で日本語をご使用になる場合は、iGrafx のインストール時に「カスタムインストール」を選択し、使用したい言語セットの追加を行ってください。

※ iGrafx のインストールについては、**『iGrafx 製品インストールガイド』**（P5～）をご覧ください。
※ iGrafx の言語セットは、後から追加インストールすることもできます。

※ただし、中国語 OS 上での SOX+日本語版の動作は原則として保証しておりません。
※日本語 OS 以外で日本語版を利用すると、環境によってダイアログボックスのタイトルなどに文字化けが発生する場合があります。

■ SOX+は、OS および iGrafx の言語セットに関わらず、日本語版・英語版・中国語版すべてがインストールされ、必要に応じて言語を切り替えて使用することができます。

言語を切り替えたい場合は、iGrafx の「ツール」メニューより「オプション」を選択して「オプション」ダイアログボックスを開き、「全般」タブの「アプリケーション言語」を対象言語に変更して、iGrafx を再起動します。
iGrafx の「アプリケーション言語」の設定に合わせて、SOX+の使用言語も切り替わります。

※ 英語・中国語版の簡単インストールガイドは、**「SOX+追加インストールディスク」**内にあります。

◆ AdministratorKit のインストール言語

各言語版の Microsoft Excel の互換性には制約があるため、英語版や中国語版 Excel で使用する RCM テンプレートの編集・保存は、同じ言語版の Excel で行う必要があります。
そのため、AdministratorKit は OS と同一の言語版のみがインストールされ言語を切り替えて使用することはできません。

海外向けの配布ファイルを作成される場合は、対象言語の OS と Excel がインストールされた PC をご用意ください。
インストーラが自動的に対応した言語版の AdministratorKit をインストールします。

AdministratorKit 英語版・中国語版の基本操作は、日本語版と同一です。
（日本語版とそれ以外では一部機能にのみ差異があります）

なお、AdministratorKit は、海外向けの配布ファイルの作成であっても日本国内で使用されることが多いため、**『SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド』**は国内の事務局様向けに日本語版を作成しております。

◆ SOX+ 中国語版をご利用の際に

SOX+ 3.2 統合版以降では、SOX+用の図形集（SOX+内部統制コレクション）の図形のフォントは、MS UI Gothic が指定されています。

MS UI Gothic は中国語の全ての文字には対応していないため、中国語を入力すると、表示できる文字はそのまま MS UI Gothic で表示されますが、表示できない文字は宋体（Simsun）で補完されて表示されます。

このため、SOX+図形のテキストや、弊社で提供しているサンプルフローチャートに入力されている文字では、画面や印刷でフォントが混在した状態になる場合があります。

中国語版をご利用の際は、図形のフォントは中国語の全ての文字を表示可能なフォントに変更してご利用ください。

ご利用になる図形は、いったん SOX+内部統制コレクションから個人用メディアコレクションにコピーすれば、宋体等のフォントに変更してお使いいただくことができます。

◆ SOX+ サーバー連携機能の対応言語

SOX+サーバー連携機能は、日本語版、英語版限定の機能となっております。
中国語版に切り替えた場合、ご使用にはなれません。

◆ SOX+ 整備/運用評価オプションの対応言語

SOX+ 整備/運用評価オプションは、日本語版、英語版限定の機能となっております。
中国語版に切り替えた場合、ご使用にはなれません。

SOX+ 旧バージョンから移行する

◆ **SOX+ 旧バージョンの設定を新バージョンに移行する**

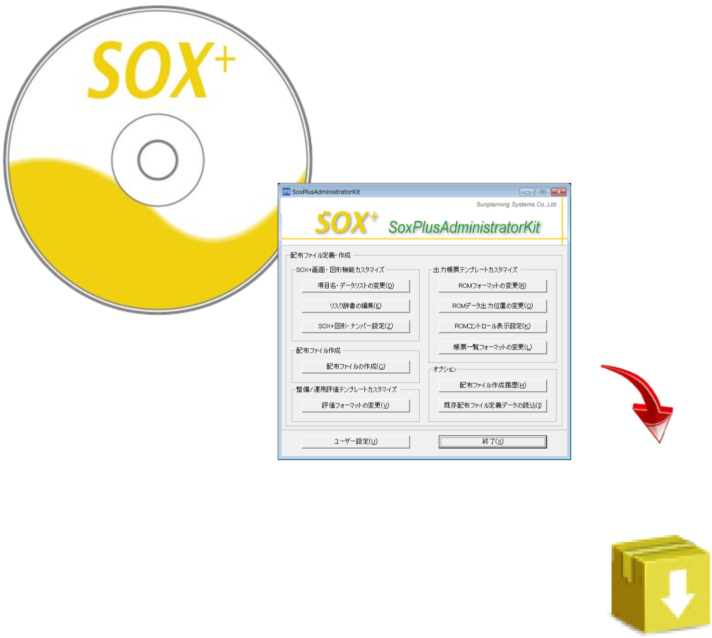
➤ SOX+ バージョンアップガイド ·· P29

SOX+の旧バージョンからバージョンアップする際にお読みください。

◆ **SOX+ の新機能を確認する**

➤ SOX+ バージョンアップ履歴 ·· P33

SOX+ Ver.3.0 以降で加えられた新機能や変更点の一覧です。



SOX+バージョンアップガイド

SOX+

SOX+ をご愛顧いただきありがとうございます。

本ガイドでは、SOX+旧バージョンから SOX+の最新バージョン（Ver.7.1.0、iGrafx Origins v17）へバージョンアップされる際の、それぞれの手順と注意点について説明しております。これまで作成された内部統制文書をそのままご利用いただくために、バージョンアップの際は、必ず本資料の手順に沿って設定の移行を行ってください。

※整備/運用評価オプションをご利用の場合は、**『整備/運用評価オプション バージョンアップガイド』**（P40～）をご覧ください。

◆ バージョンアップ前の確認と準備

iGrafx 製品および SOX+関連製品のバージョンアップ（インストール）の前に、以下について確認をしてください。

1 配布ファイルの確認

SoxPlusAdministratorKit （以下、本文中では AdministratorKit と記載します）で作成した配布ファイルをご利用の場合は、設定を引継ぐことができるよう、配布ファイル（拡張子が.igs のファイル）のバージョンアップを行います。
SOX+バージョンアップ前に、これまで利用してきた配布ファイルを必ずご準備ください。

2 図形集・iGrafx テンプレートの確認

配布ファイルに図形集・iGrafx テンプレートを含めていない場合は、iGrafx および SOX+をバージョンアップする前に、図形集・iGrafx テンプレートを保存しておきます。

3 ドキュメントのバックアップ

万が一のことを避けるため、必ずドキュメントのバックアップをとってください。

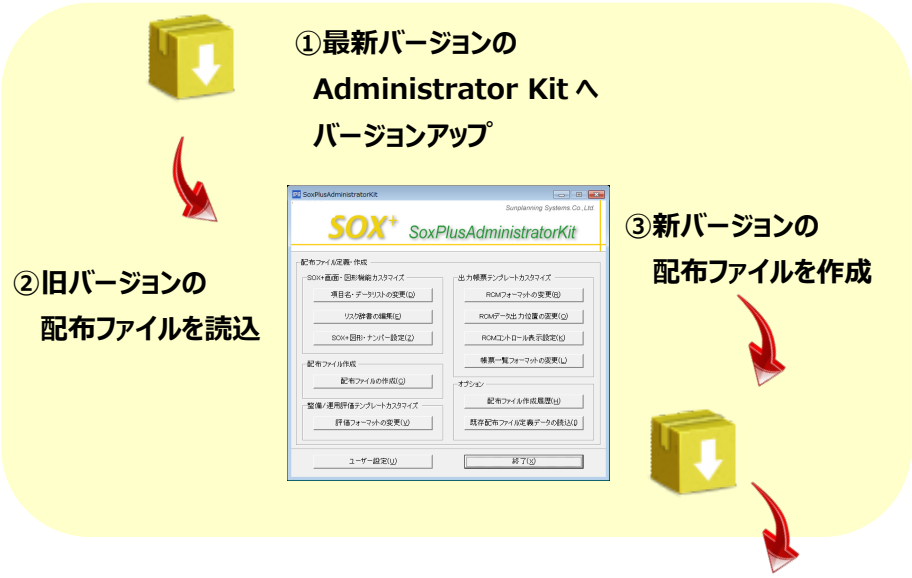
◆ iGrafx 製品および SOX+関連製品のバージョンアップ

配布ファイル、図形集、iGrafx テンプレートの確認後、iGrafx 製品および SOX+関連製品のバージョンアップ（インストール）を行います。詳細手順については、それぞれ**『iGrafx 製品インストールガイド』**（P5～） および **『SOX+詳細インストールガイド』**（P13～）を参照してください。

◆ 配布ファイルのバージョンアップ

iGrafx 製品および SOX+関連製品のバージョンアップ（インストール）後、配布ファイルのバージョンアップを行います。

配布ファイルバージョンアップの概要



以下の手順で配布ファイルのバージョンアップが行えます。

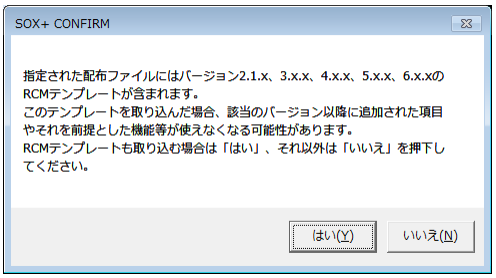
① AdministratorKit を起動し、「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンをクリックします。

② 「SOX+　既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「参照」ボタンをクリックします。

③ 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。これまでご利用の配布ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。

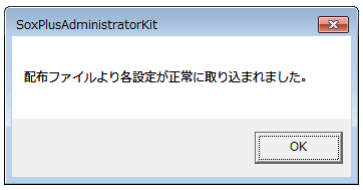
④ 「SOX+　既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスに戻ります。「OK」ボタンをクリックします。

⑤「指定された配布ファイルにはバージョン 2.1.x、3.x.x、4.x.x、5.x.x、6.x.x の RCM テンプレートが含まれます。このテンプレートを取り込んだ場合、該当のバージョン以降に追加された項目やそれを前提とした機能等が使えなくなる可能性があります。」メッセージが表示されます。

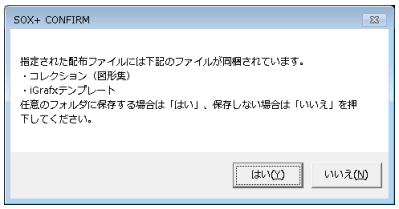


これまでの RCM テンプレート（出力帳票フォーマット）を引き継ぐ場合は「はい」をクリックします。
※「業務実施者」「システム名」の「データリスト」などの画面設定はメッセージの選択に関わらず引き継がれます。

⑥「配布ファイルより各設定が正常に取り込まれました」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

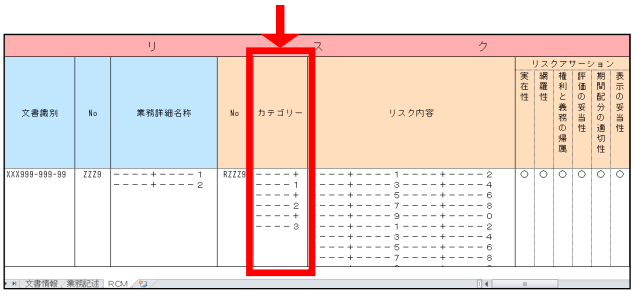


⑦ 配布ファイルに図形集・iGrafx テンプレートが含まれていた場合には、保存確認メッセージが表示されます。
図形集・iGrafx テンプレートも新バージョンの配布ファイルに引き継ぎたい場合には、任意のフォルダへ保存してください。



⑧ 取り込み後、AdministratorKit のメインメニューに戻ります。利用しているバージョン以降に追加された機能を利用したい場合は設定変更を行います。新機能については、**『SOX+バージョンアップ履歴』**（P33～）を、設定方法の詳細についてはインストールと同時に PC に導入される **『SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド』**をご覧ください。

◆ Ver.4 で追加された「対象リスク抽出」機能、Ver.6 で追加された「対象コントロール抽出」機能を利用する場合は、RCM テンプレート内に「カテゴリー」列が必要です。

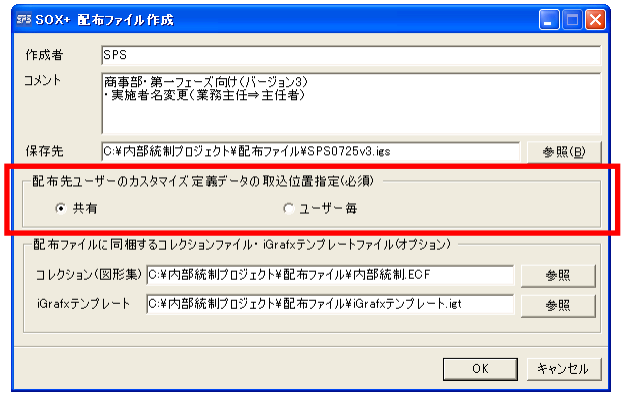


「カテゴリー」列があるか確認するには、AdministratorKit メインメニューの「RCM フォーマットの変更」で RCM シートの非表示列を開いてご確認ください。「カテゴリー」列がない場合には、手順⑤のメッセージで「いいえ」を選択する方法で再度配布ファイルを読み込み直してください。「いいえ」を選択すると Ver.7.0.4 の標準 RCM テンプレートが採用されます。旧バージョンで RCM テンプレートの書式をカスタマイズしていた場合、AdministratorKit の「RCM フォーマットの変更」で「RCM テンプレート」を旧バージョンと同様の書式に設定し直す必要がありますので、ご了承ください。

⑨ 必要な設定を行った後、AdministratorKit のメインメニューより「配布ファイルの作成」をクリックします。
必要に応じ「作成者」「コメント」を入力し、配布ファイル名を入力します。図形集・iGrafx テンプレートも含めたい場合は、手順⑦で保存したファイルを指定してください。「OK」ボタンをクリックします。

◆ これまで配布ファイルを「共有」で利用しているお客様へ
以前、配布ファイル作成で「配布先ユーザーのカスタマイズ定義データの取込位置の指定」で、「共有」と「ユーザー毎」のどちらかを選択することができましたが、Ver.6 から廃止となりました。配布ファイルは全て「ユーザー毎」で作成されます。
同じ PC にインストールされた SOX+を、ユーザーを切り替えて複数人で使用している場合、それぞれのユーザーで配布ファイルの取り込みが必要ですのでご注意ください。

▼SOX+旧バージョン



⑩ 「定義ファイルを作成しました。作成したファイルを SOX+ユーザーへ配布してください。」とメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

⑪ SOX+に配布ファイルを取り込みます。以下の**『SOX+での配布ファイル取込手順』**をご覧ください。

◆ SOX+での配布ファイル取込手順

配布ファイルの取り込みは以下の手順で行います。

① 「SOX+」メニューより、「SOX+のバージョン情報」選択し、「SOX+バージョン情報」ダイアログボックスの「配布ファイル取込」ボタンをクリックします。

② 設定を初期状態に戻すため、「定義設定を初期状態に戻す」ボタンをクリックし、確認メッセージで「はい」をクリックします。

③ 「配布ファイル取込（ユーザー）」ダイアログボックスの「参照」ボタンをクリックし、「配布ファイル選択」ダイアログボックスを開きます。配布ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。

④ 「取込実行」ボタンをクリックします。取込完了メッセージ、あるいは iGrafx 再起動を促すメッセージが表示されますので、確認し「OK」ボタンをクリックします。

上記実行後、各図形のダイアログボックスの項目名・ドロップダウンリスト・「RCM 出力」時に意図するレイアウトで帳票が出力されるかご確認ください。

SOX+バージョンアップ履歴

◆ SOX+ Ver. 3.0～7.1.0 の新機能・主な変更点

1　総合

3.0

- Windows VISTA 対応　／Office2007（Excel 2007）対応　（xls 形式のみサポート）
- 英語版　標準追加　（日本語版と切り替えて使用可能）
- PDF ファイル簡易出力機能対応
- インストール時に「共有」配布ファイルのデータ保存先を指定

3.0.1

- 整備状況評価オプション機能の追加　（有償オプション）

3.1

- 整備状況評価オプションの出力帳票に、交差タイプの RCM（「RC 関連表」）を追加

3.2

- 中国語版の追加　（日本語版と切り替えて使用可能）　※iGrafx 12.2.0.968 以降

3.3

- 整備/運用評価オプションの追加　（整備状況評価オプションに運用状況の評価機能を追加）

4.0

- Windows 7 対応
- リスクカテゴリーの追加
- 整備/運用評価オプションの機能強化（不備対応、ＣＳＡ、最終評価の追加、シート機能の強化）

5.0

- Office2010　（Excel 2010）対応
- 配布ファイル登録による複数配布ファイルの管理・切替機能の追加　（SOX+ Server Edition）

6.0

- Windows 8 対応
- 配布ファイルのファイルアイコン表示

7.0

- Windows 8.1 対応
- Excel　64bit 版への対応
- クイック実行方式でインストールされる Excel 環境への対応
- 使用帳票/証憑一覧の出力機能の追加
- AdministratorKit への配布ファイル読込時の図形集・iGrafx テンプレート保存機能の追加
- 整備/運用評価オプションの出力機能強化　（運用状況評価文書（単票）出力機能の追加、キーコントロール抽出機能の追加）

7.0.1

- iGrafx Origins　v 16 対応
- Windows 10 対応
- Office2016　（Excel 2016）対応

7.0.2

- 整備/運用評価オプション 英語版の追加
- サーバー連携機能（Server Edition） 英語版の追加

7.0.3

- iGrafx Origins v17 対応

7.0.4

- Windows11 対応
- Server 製品（iGrafx Platform)新バージョンとの連携

7.0.5

- Server 製品（iGrafx Platform)新バージョンとの連携

2 項目追加・変更

3.0

- 文書情報に「関係文書」タブを追加
- 業務詳細に「勘定科目」欄、「追加部門」欄、業務実施者のリストに「他担当者」、「他責任者」を追加
- リスクに「分類番号」欄、「リスク辞書」ボタンを追加

4.0

- リスクに「カテゴリー」欄を追加

7.0

- 内部統制の５つの構成要素に関連する１７原則の項目を追加

3 図形機能の追加・強化

3.0

- 図形の置換時、「すべてのプロパティを置換」した場合でも SOX+のデータはそのまま残すよう対応
- SOX+図形のナンバー表示を、テキストから表示位置を自由に変えられるフィールド表示に変更
- 図形の追加 （業務詳細に添付して規定文書や使用帳票、業務詳細内容の内容を画面表示させる図形や、業務やリスク・コントロールの内容を画面上に一覧表示させる図形などの追加）
- 使用帳票、規定文書、勘定科目、業務実施者、追加部門の内容の図形フィールド表示に対応

4.0

- キーコントロールを指定した時、 図形の下部に"Key"と表示される機能を追加

5.0

- SOX+情報のメモ表示機能（業務内容、リスク内容、コントロール内容のポップアップ表示）

4 ダイアログボックス機能追加・改善

3.0

- メニュー順序変更、「表示情報の更新」メニュー追加、常時 SOX+メニューを表示
- 「リスク一覧」画面 リスクをターゲットとしている（フロー内の）コントロール数の表示
- 「コントロール一覧」画面 各コントロールのターゲットリスク数の表示
- 各詳細画面の入力欄の入力可能文字数の増加、1000 文字を超える入力欄に「拡大」ボタンを追加

- リスクに対応するコントロールの一覧画面を表示する「コントロール確認」ボタン追加
- その他入力仕様の改善

7.1

- 業務詳細、リスク、コントロールの番号を 0 詰めで表示可能な機能を追加
- 内部統制上の要求の変更によりリスクの統制目的「財務報告の妥当性」を「報告の妥当性」に変更

5　整合性チェックの強化

3.0

- 統制されていないリスクをチェック対象に追加
- 全てのリスクアサーションに対応するコントロールアサーションが存在するかをチェック対象に追加

3.1

- 文書識別の重複をチェック対象に追加

6　ＲＣＭ出力・取込機能の強化

3.0

- RCM 出力の高速化
- シート名「業務記述書（表紙）」を「文書情報」に変更
- アサーション等のチェック記号を「×」から「○」に変更
- 一括取込時、取込元と取込先の突合チェック対象を「文書識別」のみに変更
- 一括取込時、「業務記述書（表紙）」／「文書情報」シートの内容も取り込み対象に追加
- 一括取込時、シート上で指定された名前の図形で新規図形を追加
- 一括取込時、リスクとコントロールの紐付き情報は変更せずに取り込むオプションを追加

3.0

- RCM 出力時に関係文書が全て開かれていない場合に警告

4.0

- 出力対象リスクの抽出条件を指定できる機能の追加
- RCM 圧縮機能（複数回登場するコントロールの省略（詳細の非表示）を選択できる機能）を追加

5.0

- Process Central リポジトリへの RCM 直接出力機能の追加　（SOX+ Server Edition）

6.0

- 統制レベルの抽出条件を指定できる機能の追加

7.1

- 出力帳票の拡張子を 4 桁拡張子（xlsx,xlsm）に変更

整備/運用評価オプションをご利用の場合

◆ SOX+ 整備/運用評価オプションを導入する

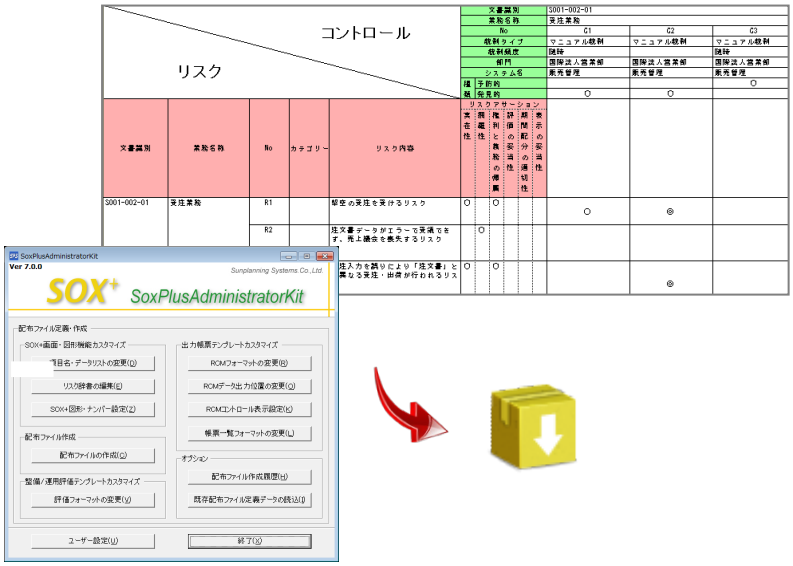
➢ SOX+整備/運用評価オプション スタートガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P37

SOX+整備/運用評価オプションを使用する場合にお読みください。

◆ 旧バージョンの設定を新バージョンに移行する

➢ SOX+整備／運用評価オプション バージョンアップガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P40

DesignTest もしくは SOX+整備/運用評価オプションをすでにご利用中の場合に
お読みください。



SOX+整備/運用評価オプション スタートガイド

この度は SOX+整備/運用評価オプション（以下、整備/運用評価オプションと略称）をご購入いただきましてありがとうございます。

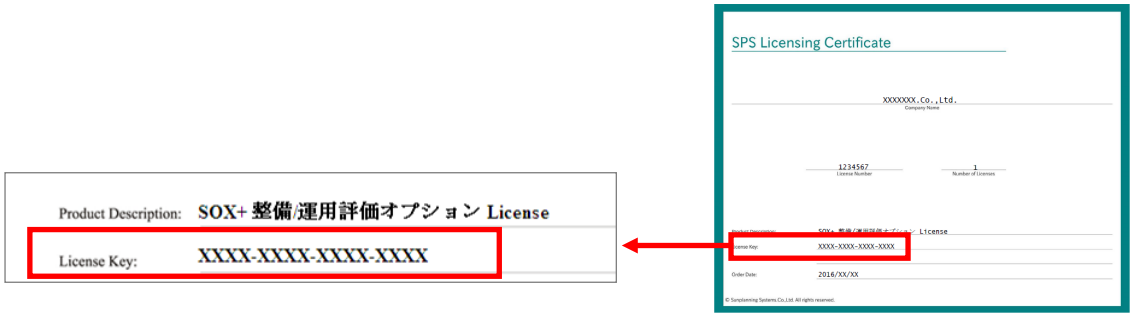
本ガイドでは、SOX+のユーザー様が、整備/運用評価オプションのご利用を開始される際に必要な作業手順についてご説明しております。

iGrafx のインストールについては、**『iGrafx 製品　詳細インストールガイド』**（P5～）を、SOX+のインストールについては、**『SOX+製品　詳細インストールガイド』**（P13～）をご覧ください。

◆ SOX+整備/運用評価オプションの導入

整備/運用評価オプションは、SOX+のオプション機能です。
整備/運用評価オプション自体のインストールの必要はありません。

ご利用の際は、整備/運用評価オプションのライセンスキーが記載された**ライセンス証書**をご用意ください。

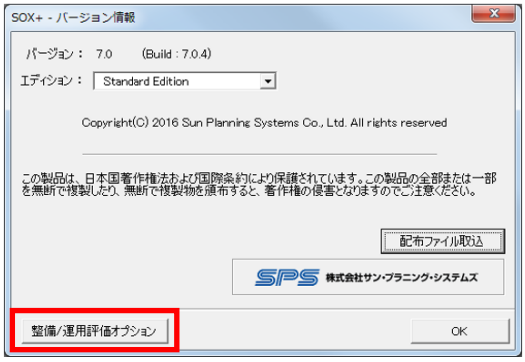


SOX+のメニューより、整備/運用評価オプションライセンスキーを登録すると、整備/運用評価オプションの追加機能が使用できるようになります。

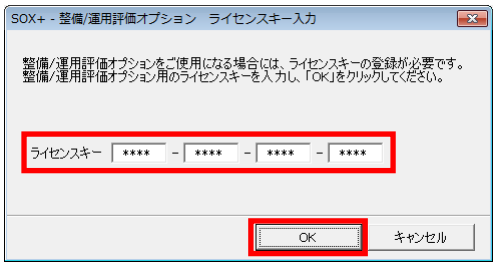
SoxPlusAdministratorKit（以下、本文中では AdministratorKit と記載します。）を使用して整備/運用評価オプションの設定のカスタマイズをする場合は、整備/運用評価オプションライセンスキーを AdministratorKit にも登録してください。

1 SOX+にライセンスキーを登録する

① SOX+の「SOX+」メニューの「SOX+のバージョン情報」をクリックします。
「バージョン情報」ダイアログボックスが開きます。



② 「整備/運用評価オプション」ボタンをクリックします。**「整備/運用評価オプションライセンスキー入力」**ダイアログボックスが開きます。
ライセンスキー（半角 16 文字）を登録し、「OK」ボタンをクリックします。

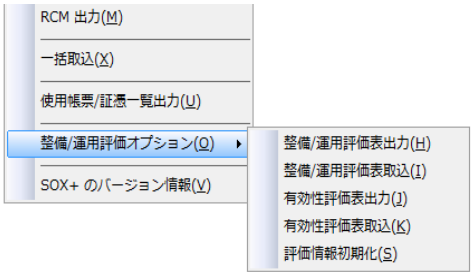


③ 確認メッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックします。

④ **「SOX+ バージョン情報」**ダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックます。

⑤ iGrafx 再起動を促すメッセージが表示されますので、iGrafx を終了し再起動します。

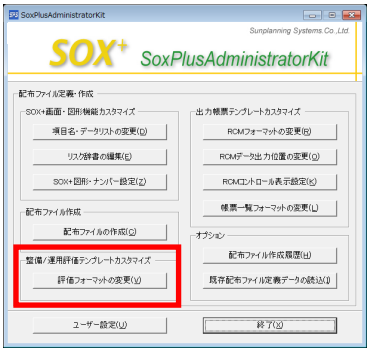
「SOX+」メニューに「整備/運用評価オプション」メニューが追加されていることをご確認ください。



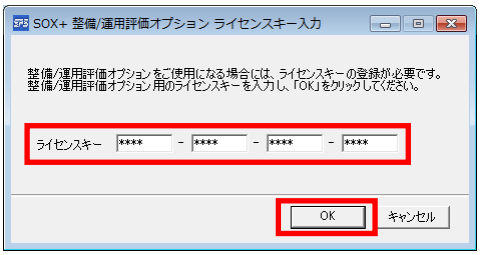
※ 整備/運用評価オプションの使用方法や機能の詳細は、Windows「スタート」メニュー→「iGrafx」フォルダに格納されている**『SOX+ 整備/運用評価オプション ユーザーズガイド』**をご覧ください。

2 AdministratorKit にライセンスキーを登録する

① AdministratorKit を起動して、メインメニューの左下にある「整備/運用評価テンプレートカスタマイズ」の「評価フォーマットの変更」ボタンをクリックし、**「整備/運用評価オプション ライセンスキー入力」**ダイアログボックスを開きます。

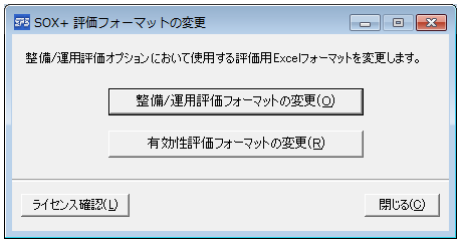


② ライセンスキー(半角大文字で 16 文字)を入力し、「OK」ボタンをクリックします。



ライセンスキーが正しく入力されていれば、「有効なライセンスキーが入力されました。整備/運用評価オプションの機能が使用可能になります。」というメッセージが表示されます。

③ 再度「評価フォーマットの変更」ボタンをクリックし、右記のように**「SOX+ 評価フォーマットの変更」**ダイアログボックスが表示されることを確認してください。



※右記の「整備/運用評価フォーマットの変更」「有効性評価フォーマットの変更」で、整備/運用評価オプションで追加される評価表テンプレートのカスタマイズを行うことができます。

項目名・データリストの変更機能は、既存の「項目名・データリストの変更」機能に追加されます。
カスタマイズの詳細については、インストールと同時に PC に導入される **『SOX+ 整備/運用評価オプション ユーザーズガイド』**をご覧ください。

3 SOX+と配布ファイルを同時にバージョンアップされる場合のご注意

AdministratorKit で作成する配布ファイルには、整備/運用評価オプションの「項目名・データリスト」「評価表」等の各設定・書式も同梱されます。

SOX+のバージョンアップと整備/運用評価オプションの導入を同時にされる場合は、ご利用の旧バージョンの配布ファイルを AdministratorKit に読み込んでから、整備/運用評価オプションのライセンスキーを AdministratorKit に登録してください。
これまでの SOX+の設定を引き継いだ上で、整備/運用評価オプションの項目名、評価表のフォーマットもカスタマイズできるようになります。

■ 整備/運用評価オプションライセンスキーを先に登録してから既存の配布ファイルを読み込むと、評価オプションについても以前の設定を引継ぐかどうかの確認のメッセージが（RCM についてのメッセージを挟んで）2 回表示されます。評価オプションを新規で使用される方は、いずれも「はい」を選択してください。「いいえ」を選択すると、過去のバージョンの項目設定・書式が引き継がれ、最新バージョンの機能が使えない場合があります。
※詳細については、**『SOX+ 整備/運用評価オプション バージョンアップガイド』**（P40～）をご覧ください。

■ 旧バージョンの配布ファイルを引き継いだ場合、「RC 関連表」は非表示に設定されていることがあります。
「RC 関連表」を表示させたい場合は、「RCM フォーマットの変更」-「RCM 出力情報の設定」ダイアログボックスで「RC 関連表」にチェックを入れてください。

SOX+整備/運用評価オプション バージョンアップガイド

SOX+ をご愛顧いただきましてありがとうございます。

本ガイドでは、旧バージョンの SOX+整備/運用評価オプション（以下、整備/運用評価オプションと略称）のユーザー様が、整備/運用評価オプション Ver.7.1.0 にバージョンアップする際の手順と注意点について説明します。これまで作成された内部統制文書をそのままご利用いただくために、バージョンアップの際は、必ず本資料の手順に従って移行を行ってください。

◆ バージョンアップ前の確認と準備

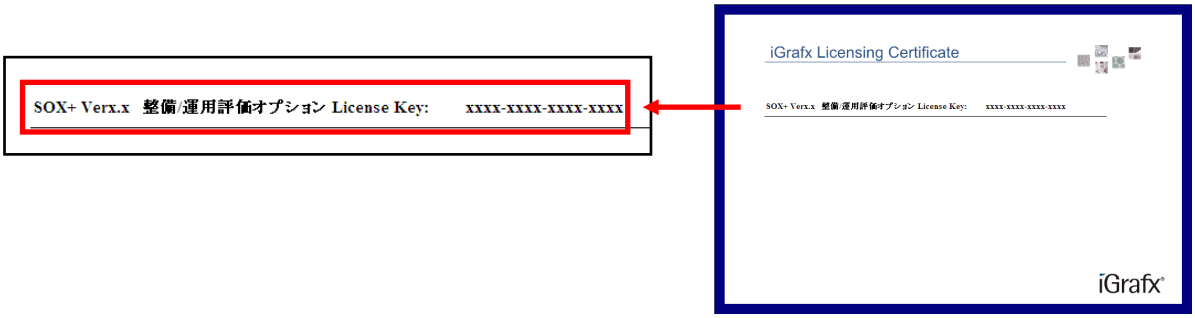
SOX+及び AdministratorKit のバージョンアップ前の確認と準備については、**『SOX+バージョンアップガイド』**（P.29～）に記載の「◆バージョンアップ前の確認と準備」をご参照ください。

◆ iGrafx 製品および SOX+関連製品のバージョンアップ

配布ファイル、図形集、iGrafx テンプレートの確認後、iGrafx 製品および SOX+関連製品のバージョンアップ（インストール）を行います。詳細手順については、それぞれ**『iGrafx 製品インストールガイド』**（P5～） および **『SOX+詳細インストールガイド』**（P13～）を参照してください。

◆ 整備/運用評価オプションのライセンスキーの登録

SOX+及び AdministratorKit へのバージョンアップ後、整備/運用評価オプションの新しいバージョンのライセンスキーを登録してください。
旧バージョンのライセンスキーは使用できません。
あらかじめ整備/運用評価オプションの新しいライセンスキーが記載された**ライセンスキー証書「iGrafx Licensing Certificate」**をお手元にご用意ください。



※ ライセンスキーの登録手順は、**『SOX+整備/運用評価オプション スタートガイド』**（P37～）をご覧ください。

◆ 配布ファイルのバージョンアップ

iGrafx 製品および SOX+関連製品のバージョンアップ（インストール）後、必要に応じて配布ファイルのバージョンアップを行います。
AdministratorKit にて配布ファイルをバージョンアップする際、整備/運用評価オプションのライセンスキーが AdministratorKit に登録されていないと、旧バージョンの「項目名・データリスト」「評価表」は読み込まれません。**必ず配布ファイルの読み込み前に、新しいライセンスキーを登録してください。**

1　SOX+Ver.4.0 以降から Ver.7.1.0 への設定の移行

以下の手順で配布ファイルのバージョンアップを行ってください。

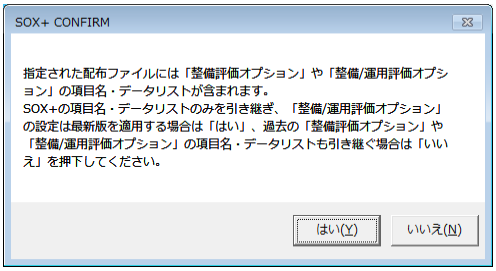
① AdministratorKit を起動し、「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンをクリックします。

② 「SOX+　既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「参照」ボタンをクリックします。

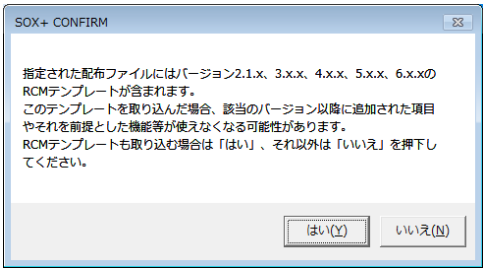
③ 「ファイルを開く」ダイアログボックスが開きます。これまでご利用の配布ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。

④ 「SOX+　既存配布ファイル定義データの読込」ダイアログボックスが開きます。「OK」ボタンをクリックします。

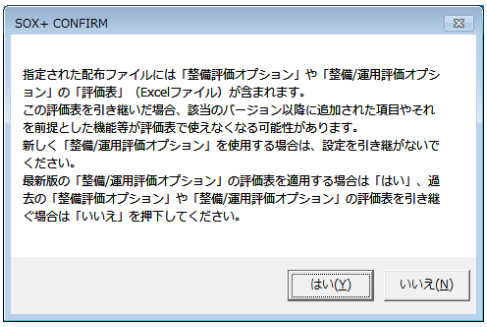
⑤ 以下のメッセージが表示されますので、**「いいえ」**をクリックします。
旧バージョンの整備/運用評価オプションで使用していた「項目名・データリスト」が引き継がれます。
（「はい」を選ぶと、整備/運用評価オプション Ver.7.1.0 の標準の「項目名・データリスト」が適用されます。）



⑥ 以下のメッセージが表示されますので、**「はい」**をクリックします。
旧バージョンの SOX+で使用していた「RCM テンプレート」が引き継がれます。
（「はい」を選ぶと、SOX+ Ver.7.1.0 の標準の「RCM テンプレート」が適用されます。）



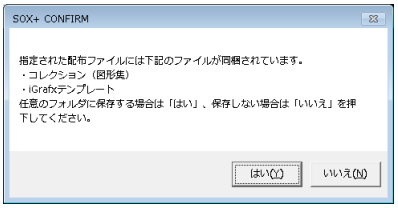
⑦ 以下のメッセージが表示されますので、**「いいえ」**をクリックします。
旧バージョンの整備/運用評価オプションで使用していた「整備/運用評価フォーマット」が引き継がれます。
（「はい」を選ぶと、整備/運用評価オプション Ver.7.1.0 の標準の「整備/運用評価フォーマット」が適用されます。）



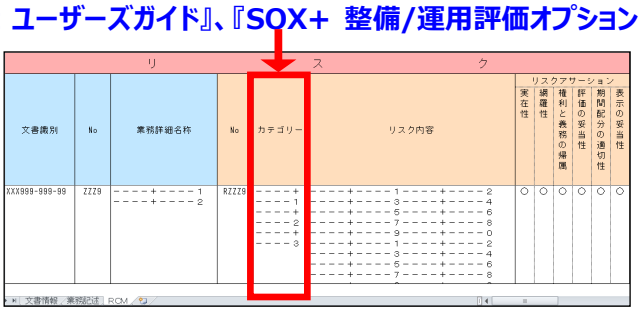
⑧ 「配布ファイルより各設定が正常に取り込まれました」とメッセージが表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。

※メッセージの選択を間違ってしまった場合は、「既存配布ファイル定義データの読込」ボタンから「初期設定を読み込む」ボタンをクリック、「OK」ボタンで初期化し、手順①から再度やり直してください。

⑨ 配布ファイルに図形集・iGrafx テンプレートが含まれていた場合には、保存確認メッセージが表示されます。
図形集・iGrafx テンプレートも新バージョンの配布ファイルに含めたい場合には、手順⑪のタイミングで設定できますので、任意のフォルダへ保存してください。



⑩ AdministratorKit のメインメニューに戻ります。必要に応じ、新機能を使用するための設定変更を行います。
新機能については、**『SOX+バージョンアップ履歴』**（P33～）を、設定方法の詳細についてはインストールと同時に PC に導入される **『SoxPlusAdministratorKit ユーザーズガイド』**、**『SOX+ 整備/運用評価オプション ユーザーズガイド』**をご覧ください。

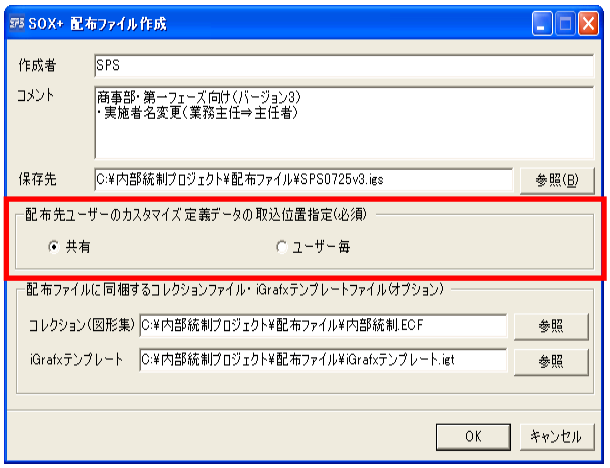


◆ Ver.7 で追加された「整備/運用評価表出力時のキーコントロール抽出」機能、Ver.4 で追加された「対象リスク抽出」機能、Ver.6 で追加された「対象コントロール抽出」機能を利用する場合は、RCM テンプレート内に「カテゴリー」列が必要です。
「カテゴリー」列があるか確認するには、AdministratorKit メインメニューの「RCM フォーマットの変更」で RCM シートの非表示列を開いてご確認ください。
「カテゴリー」列がない場合には、手順⑥のメッセージで「いいえ」を選択する方法で再度配布ファイルを読み込み直してください。「いいえ」を選択すると Ver.7.0.5 の標準 RCM テンプレートが採用されます。旧バージョンで RCM テンプレートの書式をカスタマイズしていた場合、AdministratorKit の「RCM フォーマットの変更」で「RCM テンプレート」を旧バージョンと同様の書式に設定し直す必要がありますので、ご了承ください。

⑪ 必要な設定を行った後、AdministratorKit のメインメニューより「配布ファイルの作成」をクリックします。
必要に応じ「作成者」「コメント」を入力し、配布ファイル名を入力します。図形集・iGrafx テンプレートも含めたい場合は、手順⑦で保存したファイルを指定してください。「OK」ボタンをクリックします。

◆ これまで配布ファイルを「共有」で利用しているお客様へ
以前、配布ファイル作成で「配布先ユーザーのカスタマイズ定義データの取込位置の指定」で、「共有」と「ユーザー毎」のどちらかを選択することができましたが、Ver.6 から廃止となりました。配布ファイルは全て「ユーザー毎」で作成されます。
同じ PC にインストールされた SOX+を、ユーザーを切り替えて複数人で使用している場合、それぞれのユーザーで配布ファイルの取り込みが必要ですのでご注意ください。

▼SOX+旧バージョン



⑫ 必要な設定を行った後、AdministratorKit のメインメニューより「配布ファイルの作成」をクリックします。
必要に応じ「作成者」「コメント」を入力し、配布ファイル名を入力します。図形集・iGrafx テンプレートも含めたい場合は、手順⑨で保存したファイルを指定してください。「OK」ボタンをクリックします。

⑬ 「定義ファイルを作成しました。作成したファイルを SOX+ユーザーへ配布してください。」とメッセージが表示されます。
「OK」ボタンをクリックします。

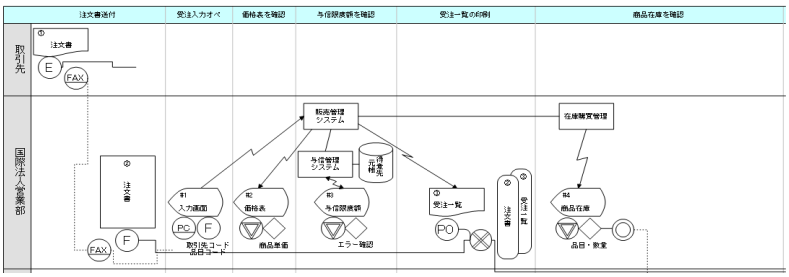
SOX+より、配布ファイルの取り込みを行います。取込手順につきましては、**『SOX+バージョンアップガイド』**の『SOX+での配布ファイル取込手順』（P.32～）をご参照ください。

特別付録

SOX+インストール CD 内には以下の内容も含まれています。必要に応じてご活用ください。

1 産能大式フローチャートを作成したいとき

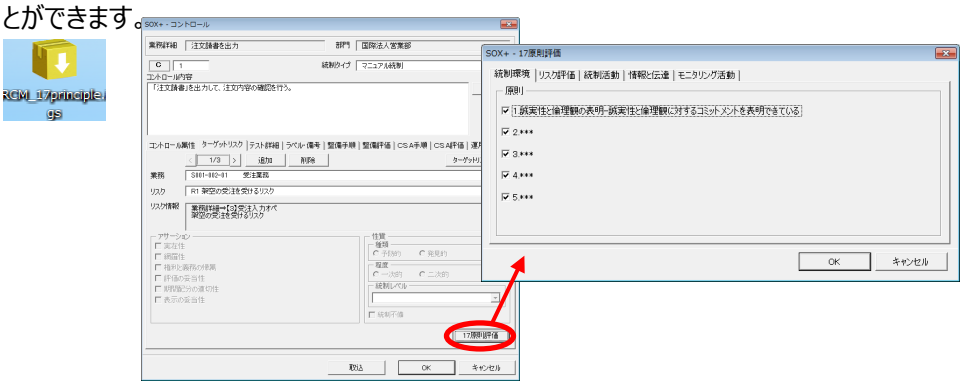
SOX+インストール CD 内の「Sanno」フォルダ内に、産能大式業務フローチャートを作成するため iGrafx テンプレートとサンプルファイルを用意しています。利用方法については「Sanno」フォルダ内の『産能大式フローチャートについて.pdf』をご覧ください。



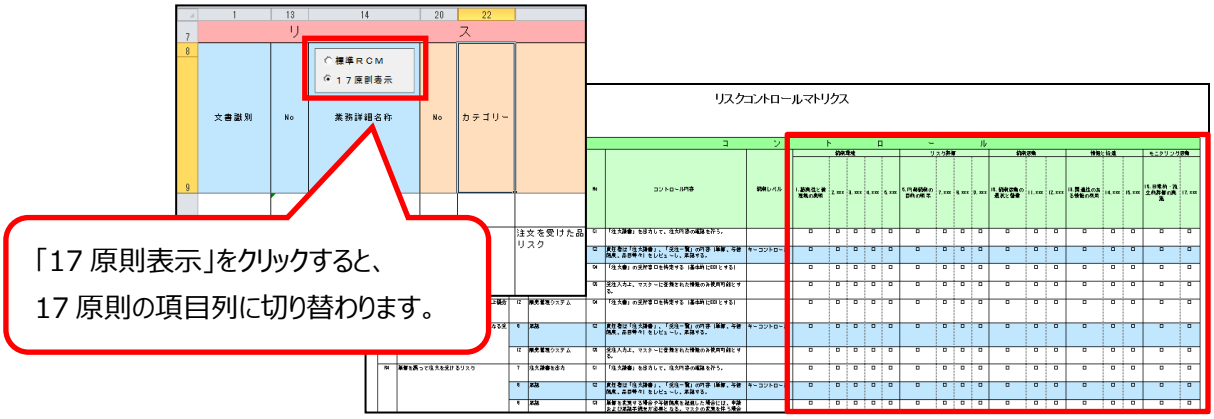
2 内部統制の 5 つの構成要素に関連する 17 原則

SOX+インストール CD 内の「COSO」フォルダ内に、内部統制の 5 つの構成要素に関する 17 原則を評価するための配布ファイル「RCM_17Principles.igs」をご用意しています。「RCM_17Principles.igs」を取込むと以下の機能が利用できます。利用方法については「COSO」フォルダ内の『17 原則の評価項目利用ガイド.pdf』をご覧ください。

・コントロール図形の「ターゲットリスク」タブに「17 原則評価」ボタンが表示され、「17 原則評価」ダイアログボックスを開くことができます。



・17 原則評価の列項目が追加された RCM シートに切替わり、ラジオボタンで「標準 RCM」と「17 原則表示」のレイアウトを切替えて利用することができます。



ヘルプデスクのご案内

本ガイドについてご不明な点や、操作についてお困りの点がございましたら、弊社ヘルプデスクへお問い合わせください。

1　お問い合わせ先

適確な回答を差し上げるため、E-mail でのお問い合わせをお願いいたします。

iGrafx ヘルプデスク
メールアドレス　：bpm_helpdesk@sunplanning.co.jp
サービス時間帯　：平日 10：00～17：00
土・日曜日、祝日、国民の休日および年末年始休業を除く営業日

お問い合わせの受付時刻や内容によっては回答が翌日以降となる場合もございますが、原則としてお問い合わせをいただいてから一両日以内にご返信させていただきます。
※ご質問への回答上、必要な場合はこちらからお電話でご連絡を差し上げることもございます。

2　お問い合わせメールに必要な事項

より迅速な回答を差し上げるため、以下の内容をご記入ください。

件名	iGrafx 問合せ（ #御社名# ）
お客様情報	御社名　お名前　E-mail　電話番号
iGrafx 製品バージョン	「ヘルプ」メニュー - 「iGrafx のバージョン情報」でご確認ください。 例：iGrafx FlowCharter　Build 17.8.2.1282
SOX+のバージョン	「SOX+」メニュー -「SOX+のバージョン情報」でご確認ください。 例：SOX+　Build :7.1.0
Maintenance ライセンス番号	License Number もしくは Order Number （証書の中央に二つある欄の左側に記載されています）
お問合せ内容	操作に関するご質問・機能に関するご質問・ほか

ご利用時にトラブル等が発生した場合は下記内容もご記入ください。

インストールした PC に関する情報	➢ メーカー名／機種名 OS（サービスパック, Build）／ CPU ／ メモリ ※ ➢ 常駐プログラム名（アンチウィルスソフト・暗号化ソフト等） ➢ OSのインストールドライブの空き容量 ➢ 仮想PC(シンクライアント)の使用有無 ※[Windows]+[Pause/Break]キーからもご確認頂けます。 [Alt]+[PrtSc]キーでスクリーンショット（画面キャプチャ）を撮り、Excel等に貼り付けてお送りください。
エラー情報	➢ 迅速に対応させて頂くため、トラブルの状況や、トラブル発生の前後に行っていた作業・操作などもお知らせください。 ➢ エラーメッセージが表示された場合は、可能であれば画面キャプチャを撮り、Excel 等に貼り付けてお送りください。 ➢ ログ出力についてメッセージが表示された場合は、メッセージに表示されているフォルダを開き、ログファイルをお送りください。 エラー等が発生したファイル(.igx)等も可能であれば添付ファイルとして送付いただけると助かります
Microsoft Excel のバージョン情報	SOX+の RCM 出力/BPR+の帳票出力や一括取込など、Excel との連携機能に関する場合は Excel のバージョンもご確認ください。 （例：EXCEL2021 など）

iGrafx／SOX+製品
トレーニングのご案内

弊社では、内部統制文書化ツール SOX+や iGrafx FlowCharter、iGrafx Process 等の各種ツールの操作や使い方を詳しく説明する、1 日から数日間のトレーニングを実施しております。

トレーニングでは、経験豊富な講師陣が、専用テキストをベースに多岐にわたる機能をわかりやすく実践的にご説明いたします。ツールの便利な機能を効率良くご活用いただく為にも、ぜひご利用ください。

お一人でもお気軽に参加いただける定例開催トレーニングのほか、
ご希望の日時と場所で開催する出張トレーニングも承っております。
受講希望人数とご都合にあわせてご利用ください。

- コース、価格、スケジュールなどの詳細は、
  弊社サイトの【SOX+（内部統制文書化）コース】をご覧ください
  https://igrafx.info/training/

SPS
https://www.sunplanning.co.jp/